

令和元年度地震・津波防災訓練 (内閣府・鹿児島県鹿児島市)

実施報告書 (概要版)

鹿児島県鹿児島市について

鹿児島市は、波静かな錦江湾、悠然とそびえる雄大な活火山桜島という世界に誇れる自然景観を有した風光明媚な都市であり、南九州の中核都市にふさわしい都市機能が集積した人口60万人の県都である。

鹿児島市においては、平成27年8月に桜島の噴火警戒レベルが4に引き上げられ、桜島の一部住民が避難したほか、29年7月には喜入沖で震度5強の地震が発生した。大規模災害とはならなかったものの、令和元年6月末には記録的な大雨となるなど、自然災害の脅威と災害対応の大切さを市民も含め、防災への危機意識が高まっている。桜島の噴火や地震、大雨、台風など、あらゆる災害に強い安心安全なまちづくりをハード・ソフトの両面から推進している。



出典：国土地理院

令和元年度地震・津波防災訓練（内閣府・鹿児島県鹿児島市）

訓練概要

- 訓練想定：令和元年11月5日火曜日午前8時27分に、錦江湾直下を震源とした震度7の地震が発生し、鹿児島市沿岸部の広い範囲に、最大3.4mの津波が13分後に到達する想定の下に実施。
鹿児島市は緊急地震速報に続き大津波警報を発令し、住民に避難を呼びかけた。
- 実施日時：令和元年11月5日（火）08:20～12:00
- 主催：内閣府、鹿児島市
- 参加者数：694名
- 参加機関：鹿児島地方気象台、日本赤十字社鹿児島県支部、イオンモール鹿児島、自主防災組織、市民、企業

訓練の評価

訓練当日は、天候に恵まれ、市内全域で全市民を対象にしたシェイクアウト訓練とともに、東開町の事業者38社132名及び津波避難ビルのイオンモール鹿児島従業員303名が津波避難訓練に参加した。また、市役所本庁と谷山支所において災害対策本部運営訓練・情報伝達訓練を実施し、終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んだ。

さらに、訓練に先立ち10月31日には、かごしま県民交流センターにおいて「地震・津波」市民防災セミナーを開催し、防災講演会、防災マップ作成演習、学生消防団による炊き出し訓練等に259名が参加した。

津波避難訓練実施後、参加事業者へのアンケートの結果

- 津波到達時間13分以内に避難できた事業者は、27事業者（77%）
 - 13分以上避難に要した事業者は、8事業者（23%）
- であることが検証された。

【上記等を踏まえた、訓練結果の総括】

- 被害想定（最大津波3.4m、到達時間13分）に基づき、各事業者を主対象に避難行動にかかる実際の所用時間を検証できたことの意義は大きい。
- 最大津波高と避難行動にかかる所要時間を考慮すると、指定された津波避難ビルに拘ることなく、近隣の高所（建物の3・4階等）への垂直避難についても、各事業者・各人毎に検討する必要がある。

また、シェイクアウト訓練については、

- 市として初めて、市内全域全市民を対象に、地震から身を守る安全確保行動について徹底する訓練を実施できたことの意義は大きい。
- 大型商業（集客）施設で従業員を主対象にしたシェイクアウト訓練においては、従業員自身の安全確保に加えて、来客の方々の安全確保等についてさらなる検討のため、市と市民・事業者等の連携・協力を一層推進する必要がある。

令和元年度地震・津波防災訓練（内閣府・鹿児島県鹿児島市）

訓練内容

10月31日 09:00～13:00「地震・津波」市民防災セミナー

東日本大震災の体験談についての講演、防災マップ作成演習、学生消防団による炊き出し訓練、パネル等展示により、防災基礎知識の理解促進と防災意識の高揚を図った。

▼講演



▼炊き出し訓練



▼パネル等展示



11月5日 08:20～09:00 津波避難訓練

防災行政無線等による津波避難の呼びかけに応じ、津波避難ビルに指定されたイオンモール鹿児島立体駐車場への避難行動について、東開町の各事業所等従業員の行動により検証した。

▼津波避難ビルの立体駐車場への避難行動



▼避難後の安全確認



11月5日 10:00～10:05 シェイクアウト訓練

全市民を対象に、それぞれの所在地において、一斉にシェイクアウト訓練を実施し、地震から身を守る安全確保行動について確認した。

▼オブシアミスミ（食堂）



▼谷山支所



11月5日 11:00～12:00 災害対策本部運営訓練及び情報伝達訓練

市役所に災害対策本部を、谷山支所に谷山支部を設置し、本部会議や情報伝達訓練により、津波発生時の初動対応や災害対応要領及び本部・支部間の連携について確認した。

▼市役所での本部会議



▼谷山支所での支部会議



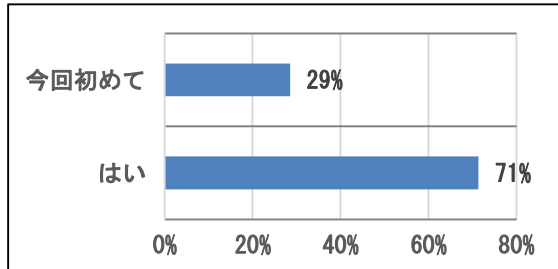
▼災害情報の発信



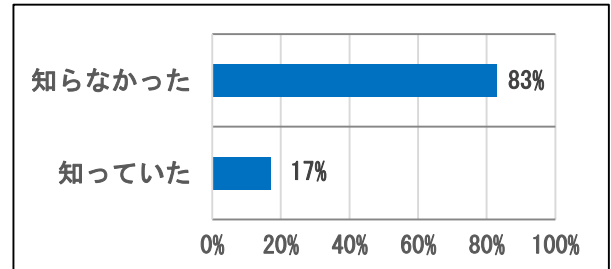
アンケート結果

事業者の方々の防災意識や津波避難対策への取組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（アンケート回収数：35事業者）

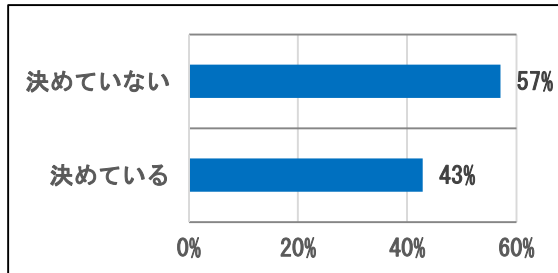
鹿児島市が作成したハザードマップを見たことがありますか。



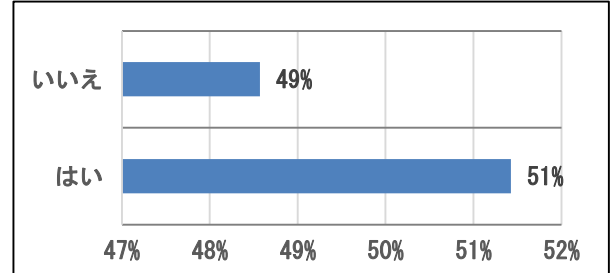
11月5日は「津波防災の日」であることを知っていますか。



災害時に家族皆外出していた場合、家族との「連絡手段」を決めていますか。



津波に対する自分なりの避難先を決めていますか。



【自由回答欄】

（良好な点）

- 今回初めて参加させていただきました。
最近大きな災害が多いため、今回の経験はとても役に立つものになると思います。
貴重な訓練をありがとうございました。
- 津波訓練は初めてでしたが、避難にどれくらいかかるかなど、とても良い経験となりました。今後も訓練は必要と思う。毎年お願いしたい。
- 会社でも年一回避難訓練は実施している。
今回初めて参加しましたが、来年以降も参加したいと思います。
- 大変勉強になりました。有難うございました。

（改善を要する点）

- もっと近くに逃げたいです。
- 参加人数が想像していたより少なかった。
- 動物と生活していると、その動物を置いて避難できるかと考えたら、置いてはいけないと思います。
- 防災無線が聞こえず、出発が遅くなったので改善が必要なのではないかと思います。